

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【公開番号】特開2010-57534(P2010-57534A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2008-223213(P2008-223213)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月31日(2011.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体の前面側にて当該支持体に対し開閉可能に支持された扉体と、

前記支持体に対し前記扉体を施錠する施錠装置とを備えた遊技機であつて、

前記施錠装置は、

前記支持体又は前記扉体の一方に取付けられるとともに、

前記支持体又は前記扉体の他方に設けられた被係合部に係合可能な施錠位置と、前記被係合部から離脱可能な解錠位置とに変位可能な複数の係合部材と、

前記複数の係合部材を連動させて、前記係合部材を前記施錠位置とする第1切換位置と、前記係合部材を前記解錠位置とする第2切換位置とに変位可能な連結部材と、

前記連結部材を前記第2切換位置側へ付勢することにより、当該連結部材を介して前記係合部材を前記解錠位置側へ付勢する付勢部材と、

前記付勢部材による付勢力に抗して、前記連結部材を前記第1切換位置側へ変位させた状態で維持することにより、当該連結部材の前記第2切換位置側への変位及び前記係合部材の前記解錠位置側への変位を規制する規制部材と、

鍵による特定の操作により前記規制部材を操作可能な錠部材とを備え、

前記係合部材は、

前記被係合部に係合される係合部と、これとは別に前記被係合部に接触可能な作用部とを備え、

前記係合部が前記被係合部に係合された状態で、前記連結部材を介して前記規制部材により前記係合部材の前記解錠位置側への変位が規制されることにより、前記扉体の開放が規制された施錠状態となり、

前記施錠状態において、前記錠部材に対して前記特定の操作があった場合には、前記規制部材による規制が解除され、前記付勢部材による付勢力により、前記連結部材が前記第2切換位置側へ変位して前記係合部材が前記解錠位置側へ変位し、

当該係合部材の変位動作により、前記係合部が前記被係合部から離脱しつつ、前記作用部が前記被係合部に作用して前記扉体が前方へ押され、解錠状態となることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記規制部材は、

前記連結部材の前記第2切換位置側への変位を規制する規制位置と、その規制を解除する規制解除位置とに変位可能に設けられるとともに、

前記規制部材を前記規制位置側へ付勢する第2付勢部材を備え、

前記連結部材が前記第2切換位置へ変位した場合には、当該連結部材の特定部位に前記規制部材が係合することにより、当該規制部材の前記規制位置側への変位が規制され、前記規制解除位置に保持され、

前記連結部材が前記第1切換位置に変位した場合には、前記連結部材の特定部位と前記規制部材との係合が外れ、前記第2付勢部材の付勢力により、前記規制部材が前記規制位置へ変位することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

**【請求項3】**

前記規制部材は、前後方向及び上下方向に沿った平面に沿って変位可能に設けられることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。